

究極の品格とラグジュアリーを求めて

Esquire

JAPAN

FALL 2018

MEN'S CLUB 11月号増刊



The Big Black Book

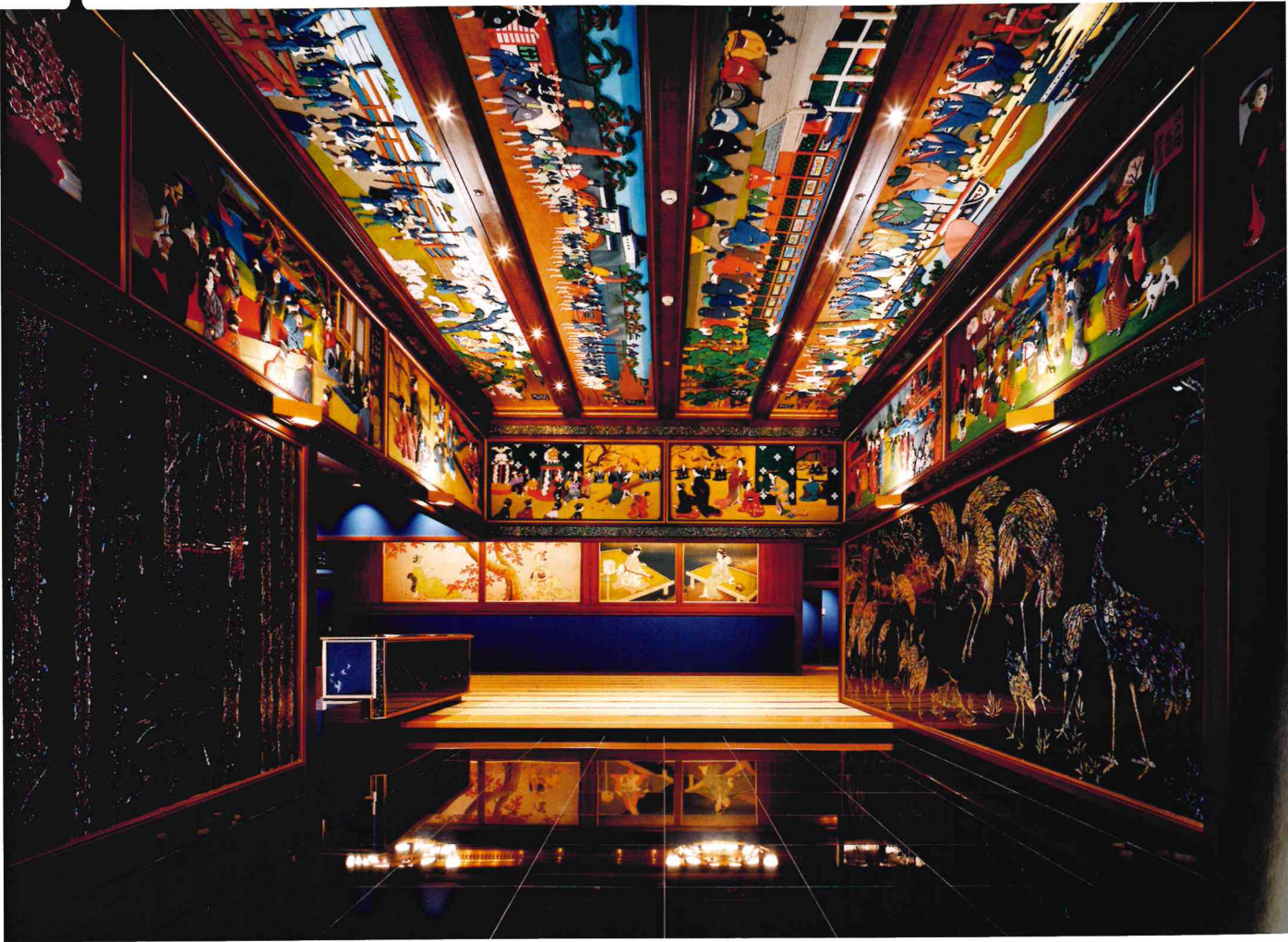
The Style Manual for Successful Men

TIMELESS

時を超えるエレガンス

Mr. Ralph Lauren

Limited Edition No. 4



和室宴会場入り口では、江戸文化の艶やかな色彩が、三方向から見る者を圧倒する。「徳川将軍日光廟参拝の図」、「徳川将軍家大奥四季年中行事遊楽図」、壁一面の螺鈿などが飾られている。

生まれ変わったラグジュアリーホテルで「日本の美」に浸る
HOTEL GAJOEN TOKYO

Text / Kazuyuki Okumura

ホテルステイに求めることはゲストによりさまざま。スパやトリートメントによる癒やしであったり、日常とは異なる空間で心身のリフレッシュを図る、もしくは美食を心ゆくまで楽しむ…。そんなホテルステイの楽しみに加えてほしいのが、ホテル雅叙園東京での「日本美の鑑賞」である。

1928年に北京料理と日本料理の料亭として創業。その後日本初の総合結婚式場「目黒雅叙園」として発展し、昨年、リブランドを行って日本芸術にあふれるラグジュアリーホテルとして生まれ変わったホテル雅叙園東京。「訪れる人が夢見心地になる空間を作りたい」という創業者・細川力蔵の意志のもと、昭和初期の芸術家たちを招き、館内に施した作品は日本画だけでも700点以上に及ぶ。エントランスから始まり、宴会場やレストラン、廊下や階段を

彩る美人画や天井画、襖絵などの数々はまるで美術館。宿泊して存分な時間とともに鑑賞したくなる、質と量だ。

魅力は芸術作品だけにとどまらない。先に紹介した創業者の思いは、リブランドされた現在にも受け継がれ、一流のホスピタリティでもてなすホテルとしての評価も高い。60室ある客室は「和敬清心」のテーマのもとリフレッシュされ、すべて80㎡以上の広さを誇るスイートルーム仕様。また、8階には宿泊者専用のエグゼクティブラウンジ「桜花」が設けられているほか、240㎡の広さのスイートルーム「紅葉」やライブラリーラウンジ「椿」を用意するなど、国内外のエグゼクティブを迎え入れる態勢となっている。

さらにリブランドの一環として昨年5月にオープンしたイタリアンの名店「リストランテ カノピアーノ」にも注

01_110㎡の広さを誇るコーナースイート。不要なものを削ぎ落とし、シンプルなかにある自然な姿を表現。02_東京都指定有形文化財である「百段階段」の一番目の部屋が「十畝の間」。荒木十畝による四季の花鳥



画が描かれている。03_和室宴会場の「竹林の間」の前室には、螺鈿による美人画が数点飾られている。04_「リストランテ カノピアーノ」の店内。ウエディングパーティにも対応する。イタリアワインも豊富に用意。



目したい。自然派イタリアンの名店を率いる植竹隆政シェフがこのホテルを訪れた際に、自身のレストラン創業時と同じインスピレーションを受け、シェフ就任20周年を機にこの場所でレストランを開くことを決めたという。なお、同店では10月1日（月）～31日（水）の期間限定で、全ての料理に白トリュフを使用し、シグネチャーメニュー「北海道産縞海老とカラスミの冷製カベッリーニ」から始まる全6品のコース（白トリュフは入荷されない日があります。5日前まで要予約。2万円。税・サ別）を用意。

日本美、上質な空間、そして美味を楽しめるこのホテルで、他では経験できないステイを堪能していただきたい。



05_「リストランテ カノピアーノ」の植竹隆政シェフ。1999年、代官山でオープンした店は予約の取れない人気店となった。シェフ就任20年目の節目に、代官山の店をクローズし、ホテル雅叙園東京内で開業した。06_「北海道産縞海老とカラスミの冷製カベッリーニ」。限定ディナーコースの予約は☎050-3188-7570(レストラン総合案内)へ。